

2025 年度
音楽学科入試課題
推薦入学試験 M

※外国人留学生入学試験もこの入試課題を使用します

同志社女子大学

目 次

● 演奏専攻入試課題（推薦入学試験M、外国人留学生入学試験 共通）

声乐コース	1
鍵盤楽器コース　：ピアノ	2
：オルガン	3
：チェンバロ	5
管弦打楽器コース：ヴァイオリン	6
：ヴィオラ	7
：チェロ	9
：コントラバス	10
：ハープ	11
：フルート	12
：オーボエ	14
：クラリネット	15
：ファゴット	17
：サクソフォーン	18
：ホルン	21
：トランペット	22
：トロンボーン	23
：ユーフォニアム	25
：チューバ	26
：打楽器（小太鼓で受験する場合）	27
：打楽器（マリimbaで受験する場合）	28
打楽器楽譜	29

● 複数の入試コースを併願する場合（外国人留学生入学試験のみ）

30

● 2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）

.....別紙

声楽コース

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 課題曲

イタリア歌曲集第1巻および第2巻（全音楽譜出版社、1971年版以降のもの）の中より、
任意の3曲を選択すること

その3曲の中より1曲を、当日試験場で指定する

(2) 自由曲

任意に選んだ1曲を演奏すること

ただし、上記(1)課題曲で選んだ3曲は除く

* 当日は係員の指示により、(1)から(2)の順で演奏すること

* 課題曲および自由曲とも歌詞は原語とし、暗譜で演奏すること

* 伴奏者は本学で用意する

* 前奏、間奏、後奏以外の省略は認めない

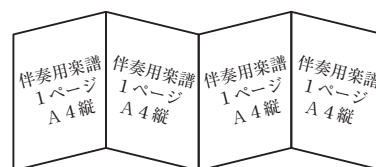
* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技
の(1) 課題曲、(2) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

* ピアノ伴奏者用に、課題曲と自由曲の楽譜を各2部、出願書類
に同封し提出すること。

提出する楽譜は、各ページの大きさをそれぞれA4縦とし、1
部ずつ、すべてのページが一度に開くように、右図を参照して
綴じること。また、楽譜に氏名等は記入しないこと。なお、提
出された楽譜は返却しない。



※折りたたんで提出すること

鍵盤楽器コース：ピアノ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) J. S. Bach

下記の (a) ～ (c) より1つを選択すること

(a) 3声のシンフォニアより任意の2曲を選択すること

その2曲の中より1曲を、当日試験場で指定する

(b) 平均律クラヴィーア曲集第1巻および第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）を演奏すること

ただし、第1巻の第4番、第10番、第22番を除く

(c) フランス組曲全6曲より任意の1曲を選び、そのアルマンド、クーラント、ジークを演奏すること

(2) 自由曲

1曲あるいはそれ以上の曲数で5分以上を演奏すること

複数の作曲家も可とする

ただし、(1) J. S. Bach および (3) 練習曲であげられている曲（J. S. Bach：3声のシンフォニア、平均律クラヴィーア曲集第1巻・第2巻、フランス組曲、M. Moszkowski：15の練習曲 op. 72、F. Chopin：練習曲 op. 10, op. 25、F. Liszt：Zwei Konzert Etüden, Drei Konzert Etüden, Paganini Etüden）を除く

(3) 練習曲

下記の (a) ～ (c) より1つを選択すること

(a) M. Moszkowski：15の練習曲 op. 72 より任意の1曲を演奏すること

(b) F. Chopin：練習曲 op. 10, op. 25 より任意の1曲を演奏すること

ただし、op. 10-3, op. 10-6 および op. 25-7を除く

(c) F. Liszt：Zwei Konzert Etüden（全2曲）、Drei Konzert Etüden（全3曲）、Paganini Etüden（全6曲）より任意の1曲を演奏すること

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* J. S. Bach, 自由曲, 練習曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(1) J. S. Bach, (2) 自由曲, (3) 練習曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

鍵盤楽器コース：オルガン

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

●オルガンで受験する場合

(1) J. S. Bach の Orgelbüchlein BWV599 ~ BWV644 の中より、任意の3曲を選択すること
その3曲の中より2曲を、当日試験場で指定する

(2) 次の曲の中から任意の1曲を演奏すること

J. S. Bach : Präludium und Fuge

- a) ホ短調 BWV533 b) ニ短調 BWV539
c) ト長調 BWV541 d) ハ長調 BWV545
e) ハ長調 BWV547

* 当日は係員の指示により、(1) から (2) の順で演奏すること

* いずれも楽譜を見て演奏してもよい

* 譜めくり等アシスタントを必要とする場合は、本学で用意する

* 楽器は本学のものを使用すること (クライス社製オルガン 2段手鍵盤 16ストップ 平行ペダル)

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

* 専門実技の試験前に、レジストレーションのための時間を与える

* オルガンの仕様は下記のとおり

<i>I Hauptwerk</i> C - g ³	<i>II Brustwerk</i> C - g ³ (schwellbar)	<i>Pedal</i> C - f ¹
Gemshorn 8'	Holzgedackt 8'	Pommer 16'
Rohrgedackt 8'	Blockflöte 4'	Pommer 8'
Principal 4'	Principal 2'	Spitzflöte 4'
Holztraverse 4'	Larigot 1 1/3'	Spitzflöte 2'
Waldflöte 2'	Krummhorn 8'	
Sesquialter I-III	Tremulant	
Mixtur III		

カプラー I-P, II-P, II-I

●ピアノで受験する場合

(1) J. S. Bach

下記の (a) ~ (c) より1つを選択すること

(a) 3声のシンフォニアより任意の2曲を選択すること
その2曲の中より1曲を、当日試験場で指定する

(b) 平均律クラヴィーア曲集第1巻および第2巻より任意の1曲 (プレリュードとフーガ) を演奏すること
ただし、第1巻の第4番、第10番、第22番を除く

(c) フランス組曲全6曲より任意の1曲を選び、そのアルマンド、クーラント、ジークを演奏すること

注：次のページに続く

(2) 自由曲

1 曲あるいはそれ以上の曲数で 5 分以上を演奏すること

複数の作曲家も可とする

ただし、(1) J. S. Bach および (3) 練習曲であげられている曲 (J. S. Bach : 3 声のシンフォニア, 平均律クラヴィーア曲集第 1 巻・第 2 巻, フランス組曲、M. Moszkowski : 15 の練習曲 op. 72、F. Chopin : 練習曲 op. 10, op. 25、F. Liszt : Zwei Konzert Etüden, Drei Konzert Etüden, Paganini Etüden) を除く

(3) 練習曲

下記の (a) ~ (c) より 1 つを選択すること

(a) M. Moszkowski : 15 の練習曲 op. 72 より任意の 1 曲を演奏すること

(b) F. Chopin : 練習曲 op. 10, op. 25 より任意の 1 曲を演奏すること

ただし、op. 10-3, op. 10-6 および op. 25-7 を除く

(c) F. Liszt : Zwei Konzert Etüden (全 2 曲), Drei Konzert Etüden (全 3 曲), Paganini Etüden (全 6 曲) より任意の 1 曲を演奏すること

*当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* J. S. Bach, 自由曲, 練習曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

*途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

● 2. 専門実技を“オルガンで受験する場合”

*別紙「2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙 (推薦入学試験M)」に各自が選んだ 2. 専門実技の J. S. Bach の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

● 2. 専門実技を“ピアノで受験する場合”

*別紙「2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙 (推薦入学試験M)」に各自が選んだ 2. 専門実技の (1) J. S. Bach, (2) 自由曲, (3) 練習曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

鍵盤楽器コース：チェンバロ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

*唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

●チェンバロで受験する場合

(1) 課題曲

下記の(a)(b)より選択した1つと(c)を演奏すること

(a) J. S. Bach：3声のシンフォニアより任意の2曲

(b) J. S. Bach：平均律クラヴィーア曲集第1巻および第2巻より任意の1曲（プレリユードとフーガ）ただし第1巻の第4番、第10番、第22番は除く

(c) F. Couperin：L'art de toucher le clavecin よりプレリユード第5番

(2) 自由曲

演奏時間10分以内の、J. S. Bach以外の作曲家による任意の楽曲を演奏すること（演奏時間10分以内であれば2曲まで可）

*当日は係員の指示により、(1)から(2)の順で演奏すること

*チェンバロのピッチは415Hzとする

*課題曲、自由曲とも、楽譜を見て演奏してもよい

*繰り返しは省略すること

*途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

●ピアノで受験する場合

(1) J. S. Bach

下記の(a)～(c)より1つを選択すること

(a) 3声のシンフォニアより任意の2曲を選択すること

その2曲の中より1曲を、当日試験場で指定する

(b) 平均律クラヴィーア曲集第1巻および第2巻より任意の1曲（プレリユードとフーガ）を演奏すること

ただし、第1巻の第4番、第10番、第22番を除く

(c) フランス組曲全6曲より任意の1曲を選び、そのアルマンド、クーラント、ジークを演奏すること

(2) ソナタ

J. Haydn, W. A. Mozart, L. v. Beethoven のソナタより、任意の1曲を選び、その第1楽章を演奏すること

(3) D. Scarlatti

任意のソナタ1曲を演奏すること

*当日は係員の指示により、(1)から(3)の順で演奏すること

*J. S. Bach, ソナタ, D. Scarlattiとも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

*途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

●2. 専門実技を“チェンバロで受験する場合”

*別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(1) 課題曲, (2) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

●2. 専門実技を“ピアノで受験する場合”

*別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(1) J. S. Bach, (2) ソナタ, (3) D. Scarlatti の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：ヴァイオリン

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

C. Flesch : Scale System より No. 5 (音階・アルペジオ・3度進行・半音階) を演奏すること
調は任意

ボーイングおよびリズムは C-dur に準ずる

速度、フィンガリングは任意

(2) 練習曲／カプリース

下記の中から任意の1曲を選び、演奏すること

J. Dont 24 Etudes and Caprices op. 35

R. Kreutzer 42 Studies

P. Rode 24 Caprices

N. Paganini 24 Caprices op. 1

(3) 協奏曲

任意の協奏曲より、その第1楽章または終楽章を演奏すること

ただしカデンツァについては、作曲者自身が自作により曲中に納めた場合を除いて省略するものとする

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階、練習曲／カプリース、協奏曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙 (推薦入学試験M)」に各自が選んだ上記 2. 専門実技の (1) 音階の調, (2) 練習曲／カプリース, (3) 協奏曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

* 外国人留学生入学試験においてヴァイオリンとヴィオラを併願する場合は、30 ページを参照すること。

管弦打楽器コース：ヴィオラ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

●ヴィオラで受験する場合

(1) 音階

任意の調，3オクターブ

ただし、短調は和声的短音階または旋律的短音階とする

速度，ボーイング，フィンガリング等の奏法はいっさい自由（任意の教則本等を参考に各自で定めること）

(2) 練習曲

任意の練習曲（ヴィオラ用またはヴィオラ用に編曲されたもの）より、1曲を演奏すること

(3) 課題曲

下記の中から任意の1曲を選び、その指定された楽章を演奏すること

J. Ch. Bach ヴィオラ協奏曲 ハ短調 第1楽章

F. A. Hoffmeister ヴィオラ協奏曲 ニ長調 第1楽章（カデンツァを省く）

G. P. Telemann ヴィオラ協奏曲 ト長調 第1，第2楽章

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階，練習曲，課題曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

●ヴァイオリンで受験する場合

(1) 音階

C. Flesch : Scale System より No. 5（音階・アルペジオ・3度進行・半音階）を演奏すること
調は任意

ボーイングおよびリズムは C-dur に準ずる

速度，フィンガリングは任意

(2) 練習曲／カプリース

下記の中から任意の1曲を選び、演奏すること

J. Dont 24 Etudes and Caprices op. 35

R. Kreutzer 42 Studies

P. Rode 24 Caprices

N. Paganini 24 Caprices op. 1

注：次のページに続く

(3) 協奏曲

任意の協奏曲より、その第1楽章または終楽章を演奏すること

ただしカデンツァについては、作曲者自身が自作により曲中に納めた場合を除いて省略するものとする

*当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

*楽器は各自で用意すること

*音階、練習曲／カプリース、協奏曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

*伴奏はなし

*途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

● 2. 専門実技を“ヴィオラで受験する場合”

*別紙「2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ2. 専門実技の(1) 音階の調、(2) 練習曲、(3) 課題曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

● 2. 専門実技を“ヴァイオリンで受験する場合”

*別紙「2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ2. 専門実技の(1) 音階の調、(2) 練習曲／カプリース、(3) 協奏曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

●外国人留学生入学試験においてヴィオラとヴァイオリンを併願する場合は、30 ページを参照すること。

管弦打楽器コース：チェロ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

ハ長調, 4 オクターブ

速度, 音域, 音型, 運指, 運弓は任意

(2) 自由曲

当日の演奏時間は10分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (2) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階, 自由曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：コントラバス

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

ト長調および変ロ長調, 2 オクターブ

各音デタシェ奏法で演奏すること

速度は任意

(2) 自由曲

当日の演奏時間は10分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (2) の順で演奏すること

* 楽器は本学のものを使用するか各自で用意すること

なお、弓は各自で用意すること

* 音階, 自由曲とも、繰り返しを省略、暗譜で演奏すること

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記 2. 専門実技の (2) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：ハープ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 自由曲

当日の演奏時間は10分以内とする

* 楽器は本学のものを使用すること

* 繰り返しは省略、暗譜で演奏すること

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の（1）自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：フルート

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

●フルートで受験する場合

(1) 音階

暗譜で演奏すること

全調から、長調と短調1つずつを譜例に基づいて2オクターブで演奏すること

調は当日試験場で指定する

譜例に従い、レガートで演奏すること

速度は♩ = 80

譜例：長調の場合



譜例：短調の場合



(2) 練習曲

Andersen : 24 Studies op. 21 より、任意に選んだ1曲を演奏すること

楽譜を見て演奏してもよい

繰り返しは省略すること

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

楽譜を見て演奏してもよい

繰り返しは省略すること

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

注：次のページに続く

●ピッコロで受験する場合

(1) 音階

暗譜で演奏すること

全調から、長調と短調 1 つずつを譜例に基づいて 2 オクターブで演奏すること（ただし C-dur / c-moll / Cis-dur / cis-moll は含まない）

調は当日試験場で指定する

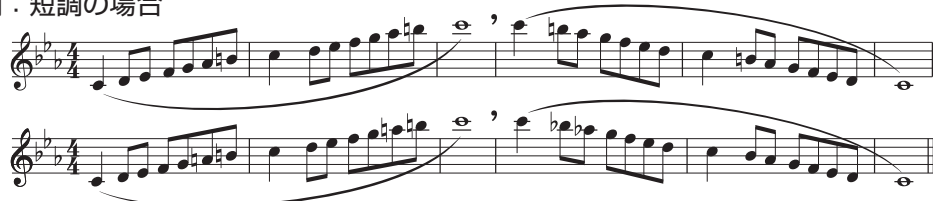
譜例に従い、レガートで演奏すること

速度は ♩ = 80

譜例：長調の場合



譜例：短調の場合



(2) 課題曲

下記の中から任意の 1 曲を選び、その指定された楽章を演奏すること

A. Vivaldi：ピッコロ協奏曲 RV443 C-dur より 1、2 楽章（何版でも可）

A. Vivaldi：ピッコロ協奏曲 RV444 C-dur より 1、2 楽章（何版でも可）

楽譜を見て演奏しても良い

繰り返しは省略すること

*当日は係員の指示により、(1) から (2) の順で演奏すること

*楽器は各自で用意すること

*伴奏はなし

*途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

● 2. 専門実技を“フルートで受験する場合”

*別紙「2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記 2. 専門実技の (2) 練習曲の番号、(3) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

● 2. 専門実技を“ピッコロで受験する場合”

*別紙「2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記 2. 専門実技の (2) 課題曲の番号を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

*入学後はフルートを専攻する。楽器は各自で用意すること。

管弦打楽器コース：オーボエ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

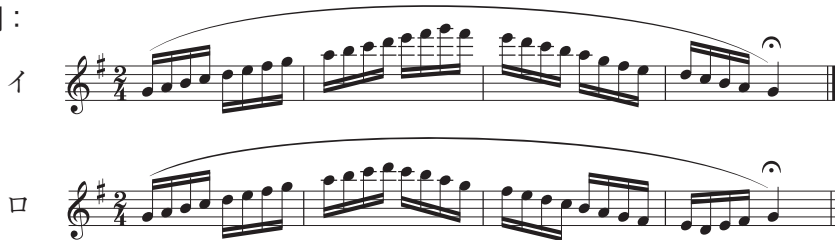
全調から、長調と短調1つずつを譜例に基づいて演奏すること

調は当日試験場で指定する

譜例イまたはロのいずれかに従い、レガートで演奏すること

速度は♩ = 60 ~ 80

譜例：



(2) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

繰り返しは省略すること

* 当日は係員の指示により、(1) から (2) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階、自由曲とも、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記 2. 専門実技の (2) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：クラリネット

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

● B♭クラリネットを受験する場合

(1) 音階

R. Eichler : Scales for Clarinet (国立音楽大学出版) の No. 1 より、全ての音階の中から
当日試験場で指定する長調と短調1つずつを演奏すること (楽譜に記載された調名で指示
する)

それぞれの調を、レガートで1回、スタッカートで1回ずつ演奏すること

速度は♩ = 60 以上

(2) 課題曲

C. Rose : 32 Etudes pour la clarinette d'après FERLING (何版でも可) より、任意の奇
数番号曲および偶数番号曲をそれぞれ1曲ずつ (計2曲) 選び、演奏すること

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階、課題曲、自由曲とも、繰り返しを省略、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

● Esクラリネットを受験する場合

(1) 音階

J. B. Albert : 24 Varied Scales and Exercises for Clarinet in All Major and Minor Keys
(CARL FISCHER) より、全ての調の1段目の中から当日試験場で指定する長調と短調1
つずつを演奏すること (楽譜に記載された調名で指示する)

それぞれの調を、レガートで1回、スタッカートで1回ずつ演奏すること

速度は♩ = 60 以上

(2) 課題曲

C. Rose : 32 Etudes pour la clarinette d'après FERLING (何版でも可) より、任意の奇
数番号曲および偶数番号曲をそれぞれ1曲ずつ (計2曲) 選び、演奏すること

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階、課題曲、自由曲とも、繰り返しを省略、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

注：次のページに続く

●バスクラリネットを受験する場合

(1) 音階

J. B. Albert : 24 Varied Scales and Exercises for Clarinet in All Major and Minor Keys (CARL FISCHER) より、全ての調の1段目の中から当日試験場で指定する長調と短調1つずつを演奏すること（楽譜に記載された調名で指示する）
それぞれの調を、レガートで1回、スタッカートで1回ずつ演奏すること
速度は♩ = 60 以上

(2) 課題曲

C. Rose : 32 Etudes pour la clarinette d'après FERLING（何版でも可）より、任意の2曲（奇数番号曲、偶数番号曲の別は問わない）を選び、演奏すること

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

*当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

*楽器は各自で用意すること

*音階、課題曲、自由曲とも、繰り返しを省略、楽譜を見て演奏してもよい

*伴奏はなし

*途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

●2. 専門実技を“B♭クラリネットを受験する場合”

*別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 課題曲の番号、(3) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

●2. 専門実技を“Esクラリネットを受験する場合”

*別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 課題曲の番号、(3) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

*入学後はB♭クラリネットを専攻する。楽器は各自で用意すること。

●2. 専門実技を“バスクラリネットを受験する場合”

*別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 課題曲の番号、(3) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

*入学後はB♭クラリネットを専攻する。楽器は各自で用意すること。

管弦打楽器コース：ファゴット

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

♯および♭が3つまでの長・短全調（短調は、和声的短音階のみ）

2オクターブ（ただし、B-dur, C-dur, h-moll, c-moll は3オクターブ）

調は当日試験場で指定する

譜例に従い、レガートおよびノンレガートで演奏すること

速度は♩ = 80

譜例：2オクターブ



譜例：3オクターブ



(2) 課題曲

J. Weissenborn : Studies for Bassoon op. 8 Vol. II（何版でも可）より、第1番～第15番から任意に選んだ1曲を演奏すること

繰り返しを省略すること

* 当日は係員の指示により、(1) から (2) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階、課題曲とも、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 課題曲の番号を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：サクソフォーン

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

●アルトサクソフォーンで受験する場合

(1) 音階

「サクソフォーンのためのトレーニングブック（音楽之友社）」より①を演奏すること
全ての音階の中から、当日試験場で指定する長調と短調1つずつを演奏すること（楽譜に
記載された調名で指示する）
レガートで演奏すること
速度は任意

譜例



(2) 練習曲

M. Mule : 48 Etudes pour tous les saxophones, d'après FERLING より第11番、第24番
の2曲を演奏すること

(3) 課題曲

A. Glazunov : Concerto pour saxophone alto et orchestre à cordes op. 109 の練習番号16
まで

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階、練習曲、課題曲とも、繰り返しを省略、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

●ソプラノサクソフォーンで受験する場合

(1) 音階

「サクソフォーンのためのトレーニングブック（音楽之友社）」より①を演奏すること
全ての音階の中から、当日試験場で指定する長調と短調1つずつを演奏すること（楽譜に
記載された調名で指示する）
レガートで演奏すること
速度は任意

譜例



(2) 練習曲

M. Mule : 48 Etudes pour tous les saxophones, d'après FERLING より第11番、第24番
の2曲を演奏すること

注：次のページに続く

(3) 課題曲

R. Schumann/ アダージョとアレグロ (須川展也サクソフォン=コレクション/全音版)
練習番号 F まで

- *当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること
- *楽器は各自で用意すること
- *音階、練習曲、課題曲とも、繰り返しを省略、楽譜を見て演奏してもよい
- *伴奏はなし
- *途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

●テナーサクソフォンで受験する場合

(1) 音階

「サクソフォンのためのトレーニングブック (音楽之友社)」より①を演奏すること
全ての音階の中から、当日試験場で指定する長調と短調 1 つずつを演奏すること (楽譜に
記載された調名で指示する)
レガートで演奏すること
速度は任意

譜例



(2) 練習曲

M. Mule : 48 Etudes pour tous les saxophones, d'après FERLING より第 11 番、第 24 番
の 2 曲を演奏すること

(3) 課題曲

R. Schumann/ アダージョとアレグロ (須川展也サクソフォン=コレクション/全音版)
練習番号 F まで (練習番号 B の 5 小節前のソは 1 オクターブ下げても良い)

- *当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること
- *楽器は各自で用意すること
- *音階、練習曲、課題曲とも、繰り返しを省略、楽譜を見て演奏してもよい
- *伴奏はなし
- *途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

●バリトンサクソフォンで受験する場合

(1) 音階

「サクソフォンのためのトレーニングブック (音楽之友社)」より①を演奏すること
全ての音階の中から、当日試験場で指定する長調と短調 1 つずつを演奏すること (楽譜に
記載された調名で指示する)
レガートで演奏すること
速度は任意

譜例



注：次のページに続く

(2) 練習曲

M. Mule : 48 Etudes pour tous les saxophones, d'après FERLING より第 11 番、第 24 番の 2 曲を演奏すること

(3) 課題曲

J. S. Bach/T. Kynaston : サックスで演奏する 6 つの無伴奏チェロ組曲 (ATN 版) より第 1 番メヌエット (メヌエット 1.2 とも演奏すること／ダ・カーポは演奏すること)

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階、練習曲、課題曲とも、繰り返しを省略、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

● 2. 専門実技を“ソプラノサクソフーンで受験する場合”

* 入学後はアルトサクソフーンを専攻する。楽器は各自で用意すること。

● 2. 専門実技を“テナーサクソフーンで受験する場合”

* 入学後はアルトサクソフーンを専攻する。楽器は各自で用意すること。

● 2. 専門実技を“バリトンサクソフーンで受験する場合”

* 入学後はアルトサクソフーンを専攻する。楽器は各自で用意すること。

管弦打楽器コース：ホルン

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

全長調から1つの長調を演奏すること

調は当日試験場で指定する（調名は実音で指示する）

譜例に従い、ノンレガートで演奏すること

速度は♩ = 80



(2) 練習曲

コブラッシュ：60のエチュード（ホルン／何版でも可）より、

第9番、第13番、第15番、第25番、第28番より、1曲を当日試験場で指定する

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階、練習曲、自由曲とも、繰り返しを省略、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(3) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：トランペット

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

B-dur / Es-dur / As-dur / Des-dur / F-dur / C-dur / G-dur（調名は実音とする）の中から1つの長調を演奏すること

調は当日試験場で指定する（調名は実音で指示する）

譜例に従い、ノンレガートで演奏すること

速度は任意

譜例



(2) 練習曲

コブラッシュ：60のエチュード（トランペット／何版でも可）より、下記の6曲から任意に選んだ1曲を演奏すること

第8番、第9番、第15番、第17番、第22番、第25番

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階、練習曲、自由曲とも、繰り返しを省略、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 練習曲の番号、(3) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：トロンボーン

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

●テナートロンボーンで受験する場合

(1) 音階

全長調から1つの長調を演奏すること
調は当日試験場で指定する（調名は実音で指示する）
音域は1オクターブとする
ノンレガートで演奏すること
速度やリズムは任意

(2) 練習曲

コブラッシュ：60のエチュード（トロンボーン／何版でも可）より任意に選んだ1曲を演奏すること

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階、練習曲、自由曲とも、繰り返しを省略、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

●バストロンボーンで受験する場合

(1) 音階

全長調から1つの長調を演奏すること
調は当日試験場で指定する（調名は実音で指示する）
音域は1オクターブとする
ノンレガートで演奏すること
速度やリズムは任意

(2) 練習曲

コブラッシュ：60のエチュード（トロンボーン／何版でも可）より任意に選んだ1曲を演奏すること

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階、練習曲、自由曲とも、繰り返しを省略、楽譜を見て演奏してもよい

注：次のページに続く

*伴奏はなし

*途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

● 2. 専門実技を“テナートロンボーンで受験する場合”

*別紙「2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記 2. 専門実技の（2）練習曲の番号，（3）自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

● 2. 専門実技を“バストロンボーンで受験する場合”

*別紙「2025 年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記 2. 専門実技の（2）練習曲の番号，（3）自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

*入学後はバストロンボーン、テナートロンボーンのいずれかを専攻する。楽器は各自で用意すること。

管弦打楽器コース：ユーフォニアム

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

F-dur / Ges-dur / G-dur / As-dur / A-dur / B-dur（調名は実音とする）から1つの音階を演奏すること

調は当日試験場で指定する（調名は実音で指示する）

音域は2オクターブとする

譜例に従い、ノンレガートで演奏すること

速度は任意

譜例



管弦打楽器コース：チューバ

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

全長調から1つの長調を演奏すること

調は当日試験場で指定する（調名は実音で指示する）

音域は1オクターブとする

譜例に従い、ノンレガートで演奏すること、各調の開始音は下記のとおり

速度は♩ = 60

譜例



開始音



(2) 練習曲

M. Bordogni : 43 Bel Canto Studies for Tuba (Robert King Music 版) の下記の5曲より
任意に選んだ1曲を演奏すること

第2番, 第3番, 第5番, 第7番, 第10番

(3) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

* 当日は係員の指示により、(1) から (3) の順で演奏すること

* 楽器は各自で用意すること

* 音階, 練習曲, 自由曲とも、繰り返しを省略、楽譜を見て演奏してもよい

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技
の(2) 練習曲の番号, (3) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：打楽器（小太鼓で受験する場合）

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 基本奏法

1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち

(2) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする

楽譜を見て演奏してもよい

繰り返しは任意とする

(3) マリンバで音階を演奏する

♯および♭が4つまでの長調1つ、短調（和声的短音階および旋律的短音階）1つずつを演奏すること

暗譜で演奏すること

音域は2オクターブとする

長調は繰り返すこと

速度は♩ = 90 ~ 120

調は当日試験場で指定する

(4) M. Ravel : Boléro

29ページの楽譜（M. Ravel : Boléro）の旋律部分をピアノ、リズム部分を小太鼓（響線を外した状態）で同時に演奏すること

速度は任意、暗譜で演奏すること

* 当日は係員の指示により、(1) から (4) の順で演奏すること

* 小太鼓は本学のものを使用するか各自で用意すること

マリンバは本学のものを使用すること

なお、撥は各自で用意すること

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

管弦打楽器コース：打楽器（マリンバで受験する場合）

1. コールユーブンゲン

範囲は、第1巻の「5度音程」から「7度音程の転回」まで
その中から当日試験場で指定する

* 唱法は、固定ド唱法または移動ド唱法のいずれでもよい

2. 専門実技

(1) 音階

全長調から1つ、全短調（和声的短音階および旋律的短音階）を1つずつ演奏すること
暗譜で演奏すること
音域は2オクターブとする
長調は繰り返すこと
速度は♩ = 90 ~ 120
調は当日試験場で指定する

(2) 自由曲

当日の演奏時間は8分以内とする
楽譜を見て演奏してもよい
繰り返しは省略すること

(3) 小太鼓で基本奏法

1つ打ち、2つ打ち

(4) M. Ravel : Boléro

29ページの楽譜（M. Ravel : Boléro）の旋律部分をピアノ、リズム部分を小太鼓（響線を外した状態）で同時に演奏すること
速度は任意、暗譜で演奏すること

* 当日は係員の指示により、(1) から (4) の順で演奏すること

* 小太鼓は本学のものを使用するか各自で用意すること

マリンバは本学のものを使用すること

なお、撥は各自で用意すること

* 伴奏はなし

* 途中で係員が演奏を止める、あるいは演奏する箇所を指示する場合がある

出願上の注意

* 別紙「2025年度 課題曲・自由曲等記入用紙（推薦入学試験 M）」に各自が選んだ上記2. 専門実技の(2) 自由曲の曲名等を記入の上、出願すること。なお、提出後の変更は認めない。

打楽器 2. 専門実技の楽譜 (M. Ravel : Boléro)

The musical score for percussion in Boléro by Maurice Ravel is written for a single percussionist. It consists of 10 staves. The time signature is 3/4. The key signature has one flat (B-flat). The score begins with a mezzo-forte (mf) dynamic and features a complex, rhythmic pattern of eighth and sixteenth notes, often grouped in triplets. The percussion part is characterized by a steady, driving rhythm that builds in intensity. The score includes various musical notations such as beams, slurs, and dynamic markings like 'f' (forte) and 'mf' (mezzo-forte). The final staff ends with a double bar line.

複数の入試コースを併願する場合（外国人留学生入学試験のみ）

- 外国人留学生入学試験において「管弦打楽器コース：ヴァイオリン」と「管弦打楽器コース：ヴィオラ」を併願する場合の受験内容は次のようになる。

この併願は、専門実技をヴァイオリンとヴィオラそれぞれの楽器で受験することも、ヴィオラの専門実技をヴァイオリンで受験することもできる（ヴァイオリンの専門実技をヴィオラで受験することはできない）

- ヴァイオリンの専門実技をヴァイオリンで、ヴィオラの専門実技をヴィオラで受験する場合
〔管弦打楽器コース：ヴァイオリンの全課題〕＋〔管弦打楽器コース：ヴィオラの2. 専門実技〕
- ヴィオラの専門実技をヴァイオリンで受験する場合
〔管弦打楽器コース：ヴァイオリンの全課題（全課題の試験は1回のみ）〕

